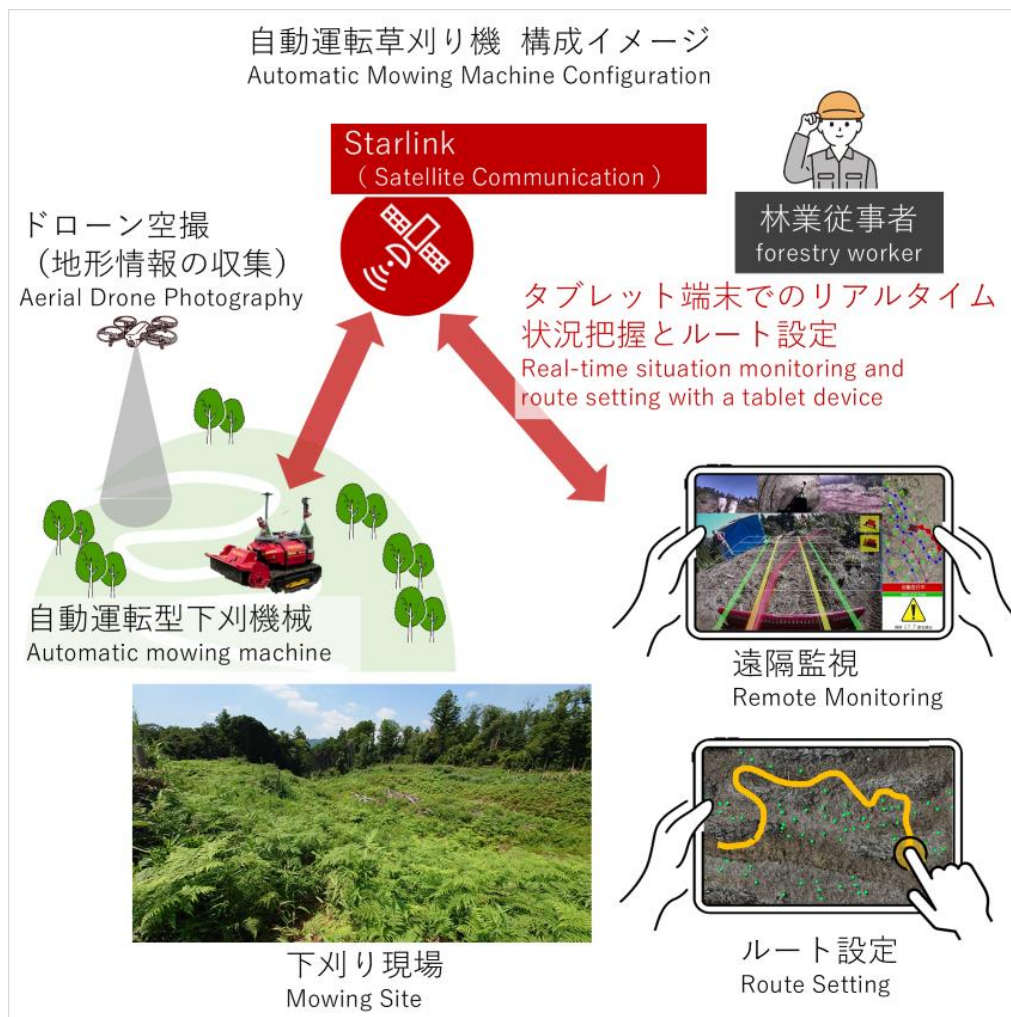


Starlink衛星を活用した自動運転技術の拡張

草刈り事業者が除草作業を安全に行えるよう、
自動運転草刈り機械を提供します

#業務効率化 #ウェルビーイング・人的資本経営



///技術課題

人手による草刈りでは作業時の事故やケガのリスクが高く、また炎天下での作業による熱中症が課題となっています。

///研究目標

山間部などの通信不感地域でも、衛星通信を確立し、自動運転を可能とすることで
草刈り事業者の作業時間を50%以上削減します。

---要素技術

- 低軌道衛星通信/4G/5Gを利用した超遠隔監視システム
- CLAS/NW-RTKの高精度GNSSを活用した自動運転の実現
- 自社開発タブレットアプリケーションによる作業エリア情報の可視化

---市中技術差異点

- ラジコン式草刈機や刈り払い機に比べて、GNSSによる自動運転が可能。それにより効率的な施業かつ遠方からの作業を実現
- 草刈り機において、タブレットアプリから自動運転草刈り機を操作できるのは日本初

---適用ビジネス

林業、保守メンテナンス業において、林業現場や河川敷、ソーラー発電所などで、草刈り作業時の事故やケガ、スズメバチなどの害虫被害、炎天下での作業による熱中症、林業従事者の高齢化など、草刈り業務の労働環境の課題を解決。(2026年商用化予定。収益規模：2030年度10億円)